

中部地方整備局のバリアフリーの取り組み

令和3年 6月30日

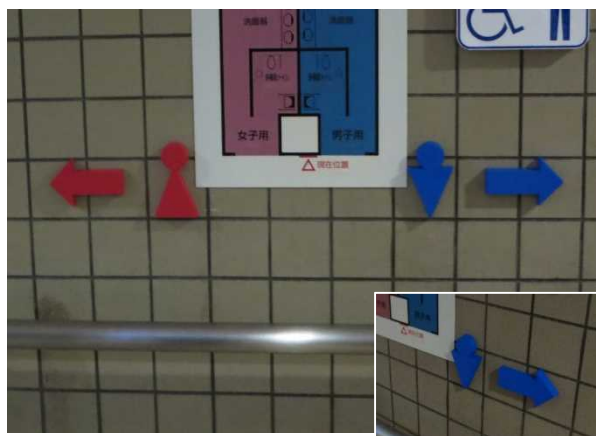
 国土交通省 中部地方整備局

視覚障害者にやさしい公的トイレの取り組み

- 視覚障害者がトイレ施設の男女の識別や衛生面から接触に問題がある空間内での設備の位置把握における不自由さを改善し、視覚障害者にやさしいトイレとするため、視覚障害者・支援団体・デザイン専門学校学生・自治体等とともに改善策を検討
- 令和2年度は、静岡県内の直轄駐車場（道の駅など13箇所）のトイレを対象に、衛生面や耐久面からの素材検討等の上で、「立体ピクトグラムによる案内」を試行的に実施
- 令和3年度は、「試行設置した立体ピクトグラムの効果検証と他施設への設置拡大」、「壁を使った案内誘導」、「健常者に補助を呼びかける広報」の実施に向けた検討を行う

改善策①

静岡駅北口駐車場(エキパ)での施工事例

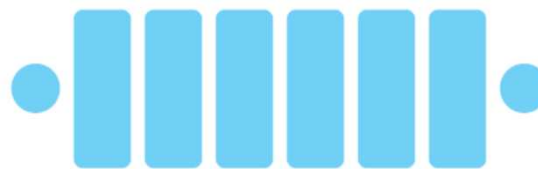


ABS樹脂を素材に活用

立体ピクトグラムによる案内

改善策②

令和3年度検討予定



丸がピリオド(終着点)の役割

壁を使った案内誘導

改善策③

令和3年度検討予定



健常者に補助を呼びかける広報

官庁営繕におけるバリアフリーの取り組み事例

高山地方合同庁舎での取組事例

隣接する「総合福祉センター」の機能を
補完するユニバーサルデザインの取組

「高山市社会福祉協議会」の意見を反映
したUDレビューを実施

各階ごとに異なる機能を備えた多機能トイレ

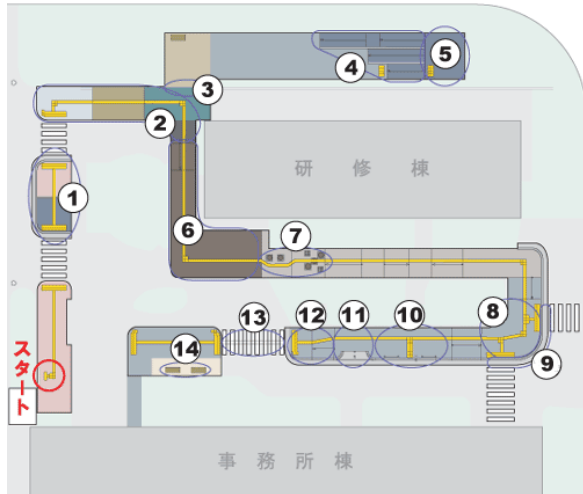


UDレビュー(施工段階)

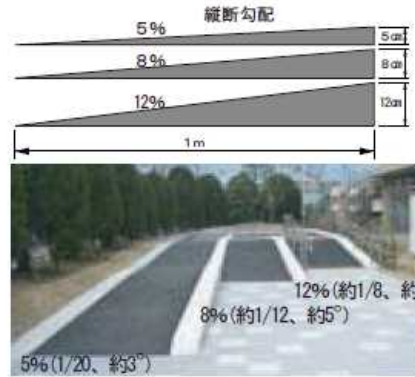


中部技術事務所におけるバリアフリー体験歩道施設

中部技術事務所構内には、バリアフリー体験歩道施設があり、開庁日の午前10時から12時まで、および午後2時から4時まで、体験参加の受付をしています（利用申込書の提出による事前申込みが必要です）。**但し、新型コロナウイルス感染予防のため、受入れの制限をさせていただく場合があります。**

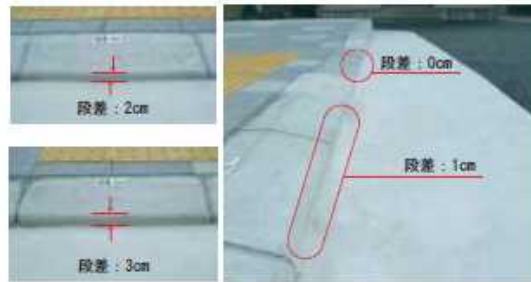


体験メニューは全部で14種類※



12%のスロープは距離が短くても、昇るには結構腕力が必要です！

車いすによる④スロープ(坂路:5・8・12%)走行体験



2・3cmの段差を昇るにはちょっとしたコツが必要です！

車いすによる⑨段差(0・1・2・3cm)走行体験



介助者と誘導ブロックの上を歩く視覚障害体験

＜令和2年度における体験実績＞
インターン生や自治体等全5回実施し、19名に体験していただきました。
車椅子では障害になる誘導ブロックも、視覚障害者には大切なものであり、障害者の方の外出時の苦勞(バリア)を実感されました。

※①透水性舗装②誘導ブロックと舗装面の輝度比③グレーチング(側溝のふた)⑤車いすの回転スペース⑥ガタツキの少ないブロック舗装⑦誘導ブロックとマンホール⑧交差点付近の誘導ブロック⑩バス停⑪車両乗り入れ部⑫斜めの誘導ブロック⑬エスコートゾーン⑭ユニバーサルデザインベンチ

中部運輸局における最近の主な取り組み

開催日程：令和2年10月28日（水）

開催場所：三島市立南小学校・校舎内及び体育館等

主催：静岡運輸支局、三島市、
社会福祉法人 三島市社会福祉協議会

協力：三島市身体障害者福祉会
株式会社 東海バスオレンジシャトル

参加者：小学校4年生 89名

視覚障がい者の方に講話をいただいた後、各グループに分かれて、車いす体験（ノンステップバス乗降体験含む）、バリアフリークイズ、アイマスク体験等に取り組みました。



移動等円滑化促進方針(マスタープラン)・バリアフリー基本構想の作成促進

～地域公共交通調査等事業（地域公共交通バリアフリー化調査事業）～

高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律に基づく、
移動等円滑化促進方針・バリアフリー基本構想の策定に要する調査経費を支援。

地域公共交通バリアフリー化調査事業

- 補助対象者：バリアフリー法第24条の4第1項に規定する協議会の構成員である市町村
- 補助対象経費：地域におけるバリアフリー化の促進を図るための移動等円滑化促進方針の策定に必要な調査経費
 - ・協議会開催等の事務費
 - ・住民・利用者アンケートの実施費用
 - ・短期間の実証調査のための費用
 - ・地域のデータの収集・分析の費用
 - ・専門家の招聘費用等
- 補助率：1/2(上限500万円)

伊勢市バリアフリーマスタープラン策定協議会

会長 皇学館大学 笠原教授

構成メンバー

学識経験者、高齢者・障害者団体、市民、商工・観光関係団体、警察、自治体、**運輸局**

作成 令和3年2月

➤ 八幡駅周辺バリアフリー基本構想策定協議会（浜松市）

○協議会構成員

学識経験者、高齢者・障害者団体、鉄道事業者、市民、警察、自治体、**運輸局**

○作成 令和2年11月

- 公共交通、観光など中部運輸局が所管する分野で、バリアフリーに大きく貢献した事業者、団体に対して、バリアフリーの普及、奨励を目的に表彰
- 1団体を表彰。

○受賞団体:特定非営利活動法人 UDほっとねっと

- 四日市市及び隣接町の小中学校等へ団体メンバーである障がい当事者を講師として派遣し、バリアフリーやUDについての基本的な知識の講習を行うとともに、車いす体験やアイマスク体験等の疑似体験を通して障がいへの理解を深め、障がい者への支援体験やワークショップを取り入れた講座を実施。
- 三重県が創設したUDアドバイザー制度のもと、UDアドバイザー養成講座を実施し、地域でリーダーとしての役割を果たす人材を育成するとともにUDのまちづくりを推進。
- 高齢者や障がい者、子育て世代の方々などに対して「誰にもやさしいサービスや商品・施設」を提供している企業や施設の取組を取材し、本団体ホームページで紹介する「UDタウンナビ活動」を平成28年から継続。この中で、電車の乗降時における車いす利用者への配慮事項を紹介しているほか、その他の障がい者に対する「転落防止装置」等のハード面、「声かけ」、「新入社員への個別研修」等のソフト面の取組を紹介(近鉄四日市駅)。さらに、自動車の福祉車両を販売しているディーラーにて専門知識を備えたスタッフが顧客対応していることやバリアフリーデザイントイレ・授乳施設を紹介。
- 四日市市内の「本町通り商店街」に高齢者や障がい者が出かけて楽しい場を作り、外出支援のための交通手段を確保する取組として、「本町通り商店街お買い物ツアー」を平成27年から平成29年まで運営。(平成28年度からは「本町通り商店街ボランティアストリート」と事業名を改名)